

平成30年度 都城市立山田中学校「学校評価及び改善計画」

目標	評価項目	評価4段階			現状分析	次年度に向けての改善策	学校運営協議会の意見
		生徒	保護者	職員			
学力の向上	授業の工夫	3.5	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 「授業の工夫」に関して、生徒保護者おおむね良好と考えており、分かる授業の工夫がなされている。 「個に応じた指導」に関して、朝自習などピアサポートや少人数指導をおこなうことで成果が出てきており、生徒・保護者の90%以上が概ね良好と回答している。 「家庭学習の課題の見届け指導を継続し、保護者への啓をおこなうことで家庭の理解が得られるようになった。 「家庭学習の仕方」に関して、家庭での学習の仕方を指導されていると保護者は考えているが、16%の生徒が指導されていないと考えている。 「基本的学習週間」しっかり指導されていると感じているが、約5分の1の生徒が身につけていると感じていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上の研究を絡めながら充実を図り、より一層分かりやすい授業になるように努める。 数学は朝自習で少人数指導を行っている。今後も継続していくとともに、教科担当だけでなく全職員で生徒の実態に応じた個別指導を行う体制を整えていく必要がある。 課題学習の取組に関して家庭との連携を図ることでさらに指導の徹底を図っていく。 特に定期テストにおける学習の仕方を範囲表に具体的に示しチェックさせることで子どもたちへの支援を充実させていく。 学習習慣向上週間で生徒のできている面を評価することで生徒の自己肯定感を高める工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 輝かしい部活動の成果に学力が比例していない点が残念である。ただ、授業は落ち着きがあり、集中している。 地域性かもしれないが、生徒も保護者も学力に対する競争意識が高いとは言い難く、学力より部活を重視する傾向が見られる。 推薦入試などで問われる作文力を身に付けるためには、読書の習慣を身に付けることが必要と思われるが、各家庭での有意義な時間活用などに、保護者が高い意識を持つべきではないか。 学力の差はあると思うが、家庭学習を進める中で、生徒の習熟に応じた課題の与え方など工夫する余地はあると思う。
	個に応じた指導	3.5	3.2	2.9			
	家庭学習の課題	3.4	3.4	3.0			
	家庭学習の仕方	3.3	3.3	2.6			
	山田ブロック9年教育	3.1	3.4	2.3			
豊かな心の育成	積極的なあいさつ	3.4	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価は高いが、部活動などの限定的な場での挨拶が多い。朝の会や帰りの会、授業での挨拶など、時と場に応じた挨拶への指導が不十分である。 生徒の自己評価と保護者の挨拶の差が大きい。現状として、十分にできているとはいえない。 自己評価は高いが、気付きの清掃などに取り組みしていないところなど、まだ改善ができる。 登下校時における自転車での交通事故が発生している。 道徳での指導やピアサポート活動で生徒間の思いやりの心が育ってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動の活性化や学担・教科担当が連携して学校全体で日々の指導を確実に行う。 リーダーの育成を通じて呼称の指導など、適切な指導を継続して行う。 5分前の予鈴から無言での移動を取り入れ、本鈴前から清掃に取り組み、清心清掃に没頭できる雰囲気作りをする。 集会などでことある毎に指導を行っている。今後も継続して指導して行く。 道徳活動の充実・ピアサポート活動の拡大を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校中の接触事故を受け、即座に通学路を見直す改善策が取られた。 一部では自転車通学に対する苦情もあるようだが、地域で見ると概ね良好である。 交通ルールは「命の大切さ」を、あいさつは「社会生活の基本」といったことを粘り強く指導してほしい。 思春期のためか、あいさつの声が小さい生徒がいるものの、自らよくあいさつをしている姿が見られる。家庭でのしつけ（あいさつ、基本的な生活）が大きく、なにも指導せずにその場でできる生徒と、言ってもできない生徒の差を感じる。
	正しい言葉遣	3.5	3.1	3.1			
	清心清掃	3.7	3.3	3.3			
	安全・安心	3.7	3.2	3.3			
	相手の気持ちや立場を考えた行動	3.5	3.2	3.3			
体力の向上	正しい姿勢（立腰）	2.9	2.9	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 「正しい姿勢（立腰）」は、概ね良好と回答した生徒が76%に対して保護者は72%と生徒と保護者で若干意識の差がある。 「規則正しい生活」は、概ね良好と回答した生徒が87%に対して保護者は78%と保護者の方が低く、生徒より厳しい見方をしている。 「体力向上」は、生徒の69%と保護者の74%が概ね良好と回答した。若干差がある。 体力テストの結果柔軟性が全国平均を下回っている。 「部活動」は、生徒の87%と保護者の89%が概ね良好と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 立腰指導を集会や立腰指導週間等で意義・必要性について啓発し、常時指導の徹底を図っていく。 「規則正しい生活」については、生徒及び保護者啓発、状況確認、指導を計画的に実施していく。 「体力向上」については、保健体育の授業での導入段階で、継続して基礎トレーニングを行うとともに、柔軟性を高める運動も取り入れる。 「部活動」については、今後も部活動を推進し、体力・競技力の向上を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 全般的に柔軟性に欠けており、また一部には極端な肥満体質の生徒が見受けられる。 食生活の偏りを改善することやメディア利用の抑制といった基本的な生活習慣を見直すことが必要ではないか。 保護者自身が生活態度を改めるきっかけとなるような講演会や学習会をPTA活動などで計画してはどうか。 部活動が活発であると、学校全体の活気が出ます。競技技術とともに生徒指導の充実を図って欲しい。
	規則正しい生活	3.5	3.0	2.7			
	体力の向上	3.0	3.0	2.5			
	部活動の取組	3.5	3.4	3.0			
地域材への貢献	地域（山田町）への関心	2.7	2.9	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は約60%、保護者は約70%が「地域に関心をもち深く知る活動に取り組んでいる」と回答している。 ボランティア等に対して、57%の生徒、72%の保護者が「取り組んでいる」と回答しているが、3年生の生徒は80%が「取り組んでいる」と回答している。 通信等で学校の様子を知らせているが、約16%の生徒が保護者へ伝えていない、約17%の保護者が伝わっていないと回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域学習は、総合的な学習の時間において、3年間で系統的に学んでいけるように、見直しをし、改善していく。 今後も、校外でのボランティアに積極的に参加する生徒も増えていくよう、募集方法や啓発の仕方を工夫し、地域へ貢献しようとする生徒を育成していきたい。 絶対に伝わらなければならない内容の通信には返信欄を設け、サインだけでもしてもらい、確実に情報が家庭へ届くようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を優先する傾向があるため、地域行事への参加やボランティア活動は制限されるが、数年前に比べて非常に積極的になった。 かかし祭りなどでは、生き生きとした表情でボランティア活動をしている頼もしい生徒の姿が見られる。地域としても、学校が身近に感じられるようになった。 自ら考え行動する生徒会活動をさらに進めてほしい。
	地域と関わる活動ボランティア活動等	2.7	2.9	2.6			
	家庭への情報提供	3.2	3.2	2.9			
PTA活動	広報活動		3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやメール配信等による広報活動に肯定的な回答をする保護者が多いが、学級ごとの通信の発行数に差が見られる。 愛校作業、綱引き大会への保護者の参加率は良いが、平日開催の参観日、学校保健委員会、駅伝ロードレース大会への参加率が思わしくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級通信、学年通信の発行回数の増加とPTA新聞の内容、ホームページのメニューの改善。 特に学校保健委員会、駅伝ロードレース大会等の開催日や日程を見直しし、保護者がより出席しやすいように、教育課程を編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育における様々な課題解決に保護者の意識改革は欠かせない。 今年度から評価項目にPTA活動を追加し、新たな視点で分析ができた。 充実したホームページによる情報発信がPTA活動への参加を促進した。 父親を巻き込んだ活動を展開するなど、地道な保護者啓発の取組みに期待したい。
	開かれた学校づくり		3.5	3.3			
	家庭と学校の連携		3.5	3.2			

4段階（4…できている、3…ほぼできている、2…あまりできていない、1…できていない）